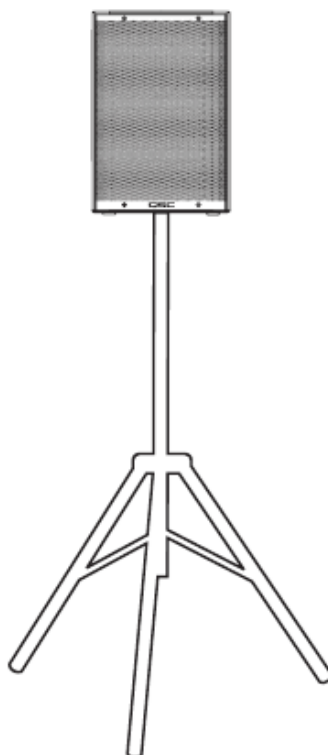
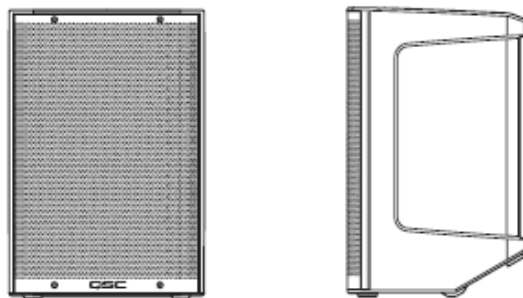


# CB10 User Manual



## CB10 Compact 2-way Battery Powered Loudspeaker



取扱説明書 ver1.0



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL: 0476(89)1111 FAX: 0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## 目次

記号の説明 .....	3
注意 .....	3
重要な安全に関する項目 .....	3
メンテナンスと修理 .....	5
はじめに .....	8
主な特徴 .....	8
同梱物 .....	11
設置とバッテリーの運用 .....	12
用途 .....	12
バッテリーの充電 .....	12
設置とカバレッジ .....	12
バッテリーの取り外し／取り付け .....	13
背面パネルの接続とコントロール .....	14
システムの電源シーケンス .....	14
入力 .....	15
入力 A、B .....	15
入力 C .....	16
出力 .....	18
接続図 .....	19

## 記号の説明

### 警告！

身体の安全に関する指示です。指示に従わない場合、傷害や死亡に至るおそれがあります。

### 注意！

機器の損傷につながる可能性があります。指示に従わない場合、機器が損傷し、保証の対象外となるおそれがあります。

### 重要！

手順を正しく完了するために不可欠な指示や情報があります。

### 注意

追加の有用な情報を示します。



本製品の筐体内部に絶縁されていない電圧が存在します。



安全上、操作および保守に関する重要な情報があります。

## 重要な安全に関する項目



警告！：火災や感電を防ぐため、機器を雨や湿気にさらさないでください。



警告！：CB10 ラウドスピーカーは1人で持ち上げることも可能ですが、不適切な持ち上げ動作や、背部の支持能力を超える重量物の持ち上げは身体に損傷を与えるおそれがあります。

1. 本書の指示をよく読み、保管のうえ、必ず従ってください。
2. すべての警告に注意してください。
3. 本製品を水の近くで使用しないでください。
4. 乾いた布でクリーニングしてください。
5. 通気口をふさがないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
6. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、アンプなどの発熱機器の近くに設置しないでください。
7. 極性付きプラグまたはアース付きプラグの安全機能を無効にしないでください。極性付きプラグは一方の刃が他方より広い形状です。アース付きプラグは2本の刃に加えて3本目のアースピンがあります。広い刃または3本目のピンは安全のためにあります。付属プラグがコンセントに合わない場合は、古いコンセントの交換について電気工事士に相談してください。
8. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特にプラグ部分、コンセント、および本製品からコードが出ている箇所での注意してください。
9. メーカーが指定したアタッチメント／アクセサリのみを使用してください。
10. 雷が鳴っているとき、または長時間使用しないときは、本製品のプラグを抜いてください。
11. 点検や修理は資格を有するサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグの損傷、液体のこぼれや異物の混入、雨や湿気への曝露、正常に動作しない、落下した等の損傷がある場合は、サービスが必要です。
12. AC 電源プラグは、設置後も容易にアクセスできるコンセントに接続してください。
13. 適用されるすべての地域法規に従ってください。
14. 感電を防ぐため、電源コードは保護接地付きの電源コンセントに接続してください。
15. 機器の設置について疑問や不明点がある場合は、有資格の専門技術者に相談してください。
16. エアゾール式スプレー、クリーナー、消毒剤などを本製品の上、近く、内部で使用しないでください。クリーニングは乾いた布のみを使用してください。
17. コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。必ずプラグを持って抜いてください。
18. 本製品を水や液体に浸さないでください。
19. 通気口にほこりや異物がない状態を保ってください。
20. 火災や感電のリスクを減らすため、本製品を雨、液体、湿気にさらさないでください。
21. 滴下や飛沫にさらさないでください。花瓶など液体が入った物を本製品の上や近くに置かないでください。
22. 本製品を火気や熱源から離してください。点灯したろうそくなどの裸火を本製品の上や近くに置かないでください。

- 23. 本製品を無断で改造しないでください。
- 24. 使用時の周囲温度は 50°C を超えないようにしてください。
- 25. 暖炉、ラジエーター、温風口、アンプなどの発熱機器の近くに設置しないでください。
- 26. 製品ラベルは本製品の背面にあります。
- 27. 小さな部品を含み、誤飲・窒息のおそれがあります。3 歳未満の子どもには適していません。



- 28. 本製品には磁性体が含まれます。体内に埋め込まれている医療機器への影響については医師に相談してください。



## メンテナンスと修理

CB10 ラウドスピーカーには、ユーザーがサービスできる部品はありません。QSC は、ラウドスピーカーの洗浄に化学薬品や溶剤を使用することを推奨しません。水で湿らせたタオルのみを使用し、拭いた後はすぐに乾かしてください。コネクター、金具、背面のユーザーインターフェース部に水がたまらないようにしてください。

長時間にわたり直射日光にさらされると、金属部品が変色または退色する場合があります。可能な限り、CB10 ラウドスピーカーを長時間の直射日光から覆う、または日陰にしてください。

警告： 先進的な技術（例：先進的材料と高出力エレクトロニクスの使用）には、それらに適合した保守および修理方法が必要です。機器のさらなる損傷や人身事故、安全上の危険を避けるため、機器の保守や修理は、QSC 認定サービスステーションまたは QSC 正規海外ディストリビューターにのみ依頼してください。

ライフサイクル：10 年

保管温度範囲：-20° C ～ +60° C

相対湿度範囲：5～85% RH

## バッテリーの取り扱いと充電

1. CB10 ラウドスピーカーには、バッテリー一覧に記載の認証済みバッテリーのみを使用してください。他のシステム用のバッテリーパックとは互換性はありません。別のシステムで使用すると、火災・感電・人身事故の危険があります。
2. 初回使用前に、バッテリーを満充電にしてください。
3. 雨天、降雪、湿った場所やぬれた場所でバッテリーパックを充電しないでください。
4. バッテリーを水や液体に浸さないでください。
5. バッテリーパックの着脱時に火花が発生し、火災の原因になるおそれがあるため、爆発性雰囲気中で使用しないでください。
6. QSC 認定の充電器のみを使用してください。
7. 高温（60°C 超）にさらさないでください。開放炎やヒーターなどの外部熱源も、欠陥セルや他の要因による不具合を加速させます。
8. 極端に低い気圧にさらさないでください。
9. 機械的衝撃を与えないでください。バッテリーが損傷するおそれがあります。
10. バッテリーパックを焼却しないでください。爆発して人身事故や損害を引き起こすおそれがあります。焼却により有毒な煙や物質が発生する場合があります。
11. 穴を開けたり、押し潰したり、落下させたり、損傷させたりしないでください。
12. 分解しないでください。誤った再組立により、感電・発火・バッテリー化学物質への曝露の危険があります。損傷した場合は QSC のサービス拠点にお持ちください。
13. 短絡（ショート）させないでください。
14. 強い衝撃を受けた、落下した、車両に踏まれた、または何らかの損傷を受けたバッテリーパックは使用しないでください。使用前に、膨れ／ひび割れ、異音（シューという音）、漏れ、温度上昇、発煙などの損傷兆候がないか点検してください。兆候がある場合は、機器またはバッテリーを直ちに使用停止にし、可燃物から離れた場所に置いてください。

警告：以下の場合、爆発や可燃性液体・ガスの漏えいの危険があります。

- 安全機構に適合しない不適切なバッテリーに交換した場合（例：リチウム系バッテリーの一部）。
- バッテリーを火中や高温のオープンに廃棄したり、機械的に押し潰したり、切断したりした場合。
- 極端に高温の周囲環境に放置した場合。
- 極端に低い気圧にさらした場合。

## 各種記号の説明



リサイクル

環境への影響を最小限に抑えるため、地方自治体の指示に従いリサイクルまたは適切に処理してください。



交流 (AC)



使用前に取扱説明書をお読みください。

## はじめに

CB10 は、CP シリーズの超小型で優れた価値を受け継ぎ、10 インチウーファーを搭載した 2 ウェイのポータブル PA スピーカーです。AC 電源またはバッテリーで駆動し、これまでにない性能を発揮します。複数入力、カスタムプリセット、内蔵 DSP、Bluetooth オーディオストリーミング、iOS/Android 用のリモートコントロールアプリに対応し、イベント制作やソロ/デュオの演奏、電源確保が難しい場所でも高品位な音質が求められる用途に最適です。

## 主な特徴

- 10 インチ・ウーファーと 1 インチ (25.4 mm)・コンプレッションドライバーを備えた 2 ウェイのアクティブスピーカーシステムです。
- 非常に高い最大ピーク SPL を歪みなく実現します。
- 着脱式で充電式の内蔵バッテリーにより、卓越した可搬性を備えます。
- AC 電源接続により、時間の制約なく最適な性能を発揮します。
- ルームディレイを内蔵し、大規模 PA システムの拡張用スピーカーとしても使用できます。
- Bluetooth 対応の QSC Loudspeaker Control アプリによる拡張操作に加え、直感的なリアパネル操作で、プラグ&プレイの安心感と利便性を提供しつつ、ソフトウェアからの詳細なカスタマイズにも対応します。
- コンボ XLR 入力 (Line/Mic) を 2 系統搭載し、各入力に独立して割り当て可能な Factory Preset を用意します。異なる用途で 2 本のマイクが必要な小規模なイベントに最適です。
- True Wireless Stereo (TWS) 対応の Bluetooth オーディオにより、音楽ソースとの低遅延ペアリングと、最大 4 台のスピーカーへの同時接続を実現します。
- ポールマウントおよびチルトバック設置に対応し、さまざまな運用オプションをサポートします。
- QSC Acoustic Linear Phase (ALP) 統合により、必要に応じて QSC サブウーファーとシームレスに組み合わせ、低域を強化できます。



## QSC Loudspeaker Control アプリ

1. QR コードをスキャンしてください



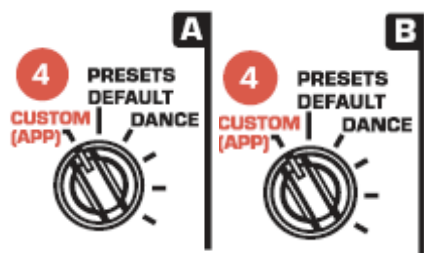
2. Google Play／App Store から入手してください



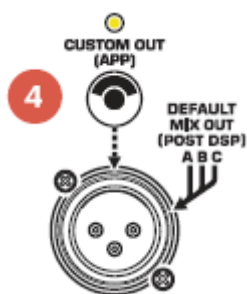
3. インストールしてください

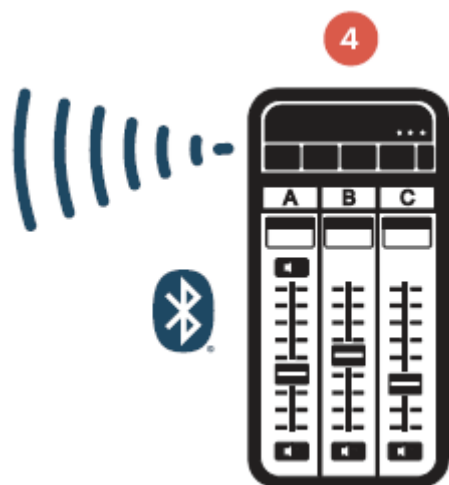


プリセット：CUSTOM（APP）を選択してください



MIX 出力：CUSTOM OUT（APP）を有効（黄色 LED 点灯）にしてください





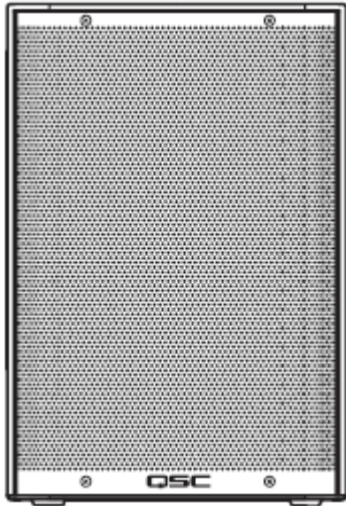
QSC Loudspeaker Control アプリで、スピーカーのファームウェアを更新できます。

アプリのコントロール機能：

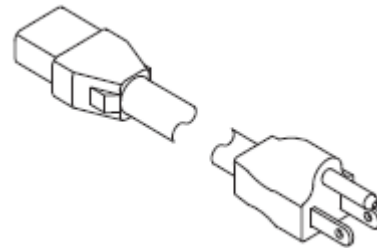
- チャンネルプリセットを拡張します。
- リモートでゲインとチャンネルのミュートを操作します。
- **EQ** を調整できます。
- リバースを調整できます。
- エフェクトのミュートに対応します。
- 音質設定に対応します。
- ダッカー（チャンネル A）をコントロールします。
- ルームディレイに対応します。
- ステレオ／マルチに対応します。
- ラウドスピーカーのペアリングを行います。
- フットスイッチの割り当てに対応します。
- カスタム出力オプションに対応します。
- そのほか多数の機能に対応します。

## 同梱物

- CB10 ラウドスピーカー



AC 電源コード



- QSC ロゴ ステッカー (ホワイト)



- CB10 クイックスタートガイド
- パワード・ラウドスピーカー安全シート
- バッテリーの安全および規制に関する声明

## 設置とバッテリーの運用

### 用途

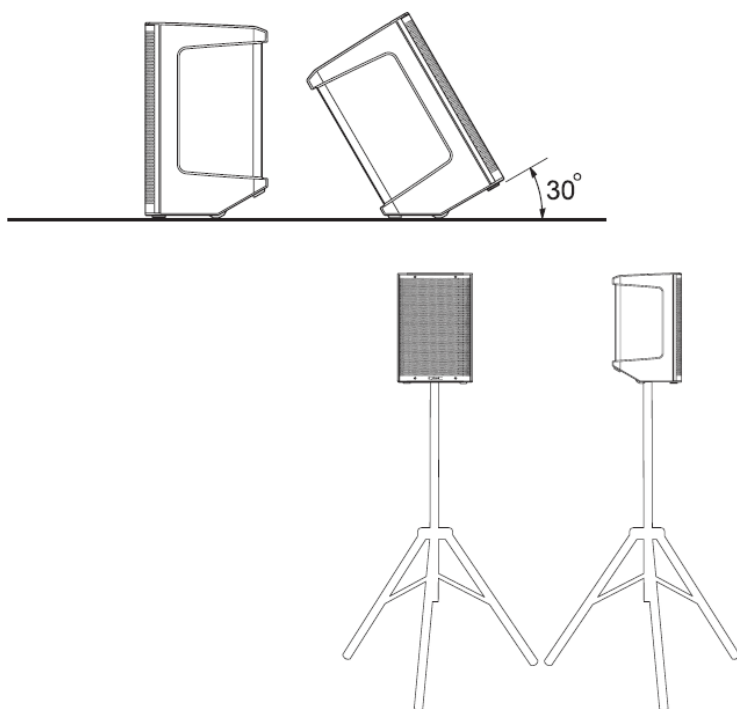
CB10 は充電式バッテリーを搭載し、電源がない場所や電源にアクセスしにくい環境での使用に適しています。CB10 ラウドスピーカーは AC 電源でも使用でき、長時間の運用と安定したパフォーマンスを実現します。充電式バッテリーは AC 電源接続時に本体内で充電します。必要に応じて、工具を使わずに簡単に取り外し・交換できます。

### バッテリーの充電

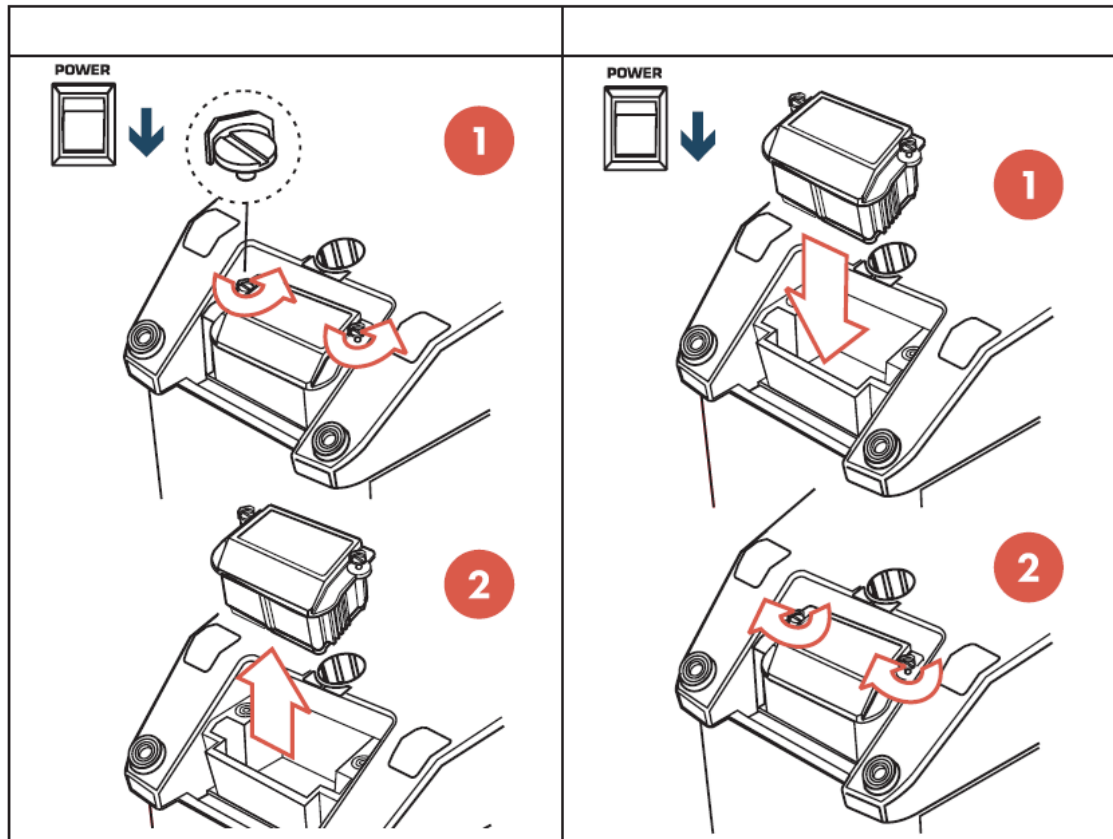
1. バッテリー残量は、背面パネルのバッテリー残量 LED、または Bluetooth 接続時は QSC Loudspeaker Control アプリで確認できます。
2. 充電するには、バッテリーを装着したまま CB10 に AC 電源を接続してください。充電中でも AC 電源でラウドスピーカーを使用できます。
3. 充電が完了したら、保管する場合は CB10 から AC 電源を外してください。使用中で満充電のときは、AC 電源を接続したままにしても問題ありません。

### 設置とカバレッジ

CB10 は床置き（0°または 30°のチルト）またはポール設置ができます。音響カバレッジは 90°×90°です。



## バッテリーの取り外し／取り付け



[バッテリーの取り外し]

POWER（電源）→オフにしてください。

- 1 上面の 2 本のネジを反時計回りに緩めてください。
- 2 バッテリーを上方向に引き上げて取り外してください。

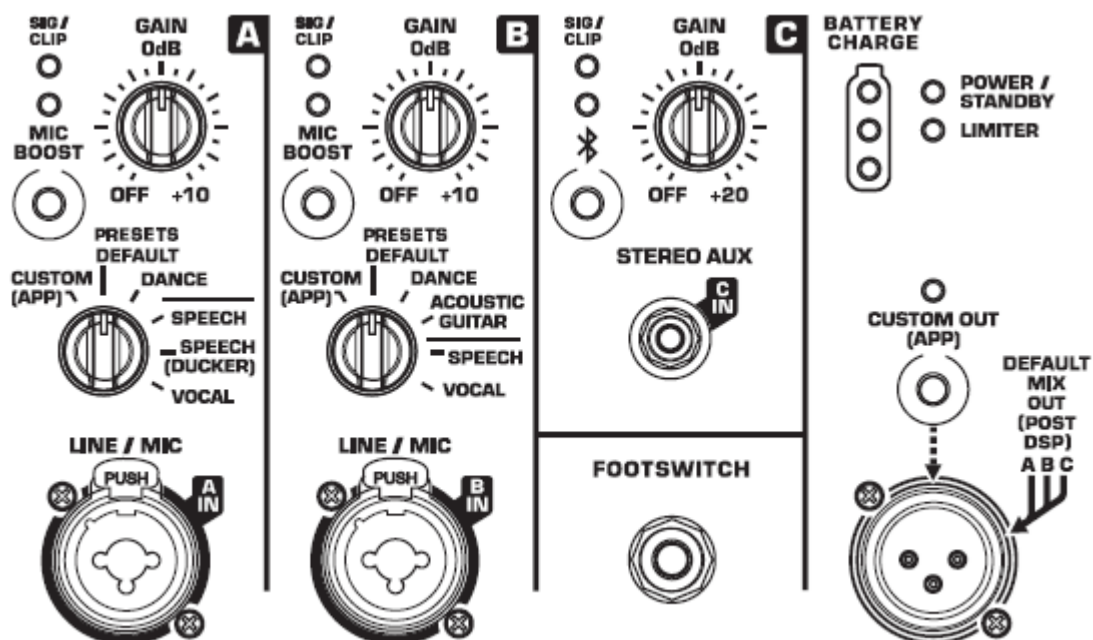
[バッテリーの取り付け]

POWER（電源）→オフにしてください。

- 1 バッテリーをまっすぐ挿入し、正しく収まるまで差し込んでください。
- 2 上面の 2 本のネジを時計回りに締めて固定してください。

注意：バッテリーを交換するときは、QSC 認定バッテリーモジュールのみを使用してください。

## 背面パネルの接続とコントロール



### システムの電源シーケンス

適切な電源の入切順序により、システムからの不要な音（ポップ音、クリック音、ドンという音）を防げます。スピーカーは「最後にオン、最初にオフ」の原則に必ず従ってください。

電源投入の順序：

スピーカーへ送るミキサー（または他の音源）の出力レベルつまみを最小にします。CDプレーヤー、ミキサー、楽器など、すべてのソース機器をオンにしてから、CB10 をオンにしてください。その後、ミキサーのレベルを上げます。

電源オフの順序：

CB10 の電源をオフにし、続いてすべてのソース機器をオフにしてください。アサイン出力から CB10 の信号を受けている機器は、CB10 の供給信号を停止する前にオフにしてください。

# 入力

## 入力 A、B

### 1. SIG LED

緑点灯：信号を検出しています。

赤点灯：A/D コンバーターがクリップしています。赤の点滅が止むまでゲインを下げてください。この LED が点灯しない場合、入力信号がないか、検出できないほど小さい可能性があります。

### 2. MIC BOOST ボタン

マイク入力のレベルをブーストします。

MIC BOOST がオフの場合、ラインレベル入りに設定されます。マイクを直接 MIC/LINE 入りに接続する場合のみ使用してください。なお、この入力は+48V フェントム電源を供給しません。

### 3. GAIN コントロール

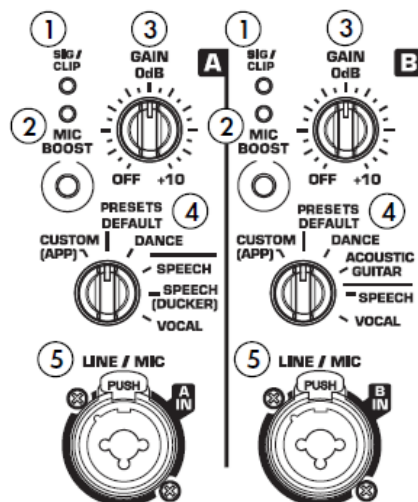
入力 A または B の感度を設定します。アンプへ送るレベルと OUT (POST DSP) 出力のレベルを制御します。ノブの GAIN 設定は、QSC Loudspeaker Control App での調整により上書きされる場合があります。手動操作に戻すには、GAIN ノブをアプリの現在値に合わせるか、いったんノブを OFF に回してから再度上げてください。

### 4. CONTOUR ノブ

入力プリセットの音質設定を選びます。入力ソースに合わせて入力 DSP を最適化できます。CUSTOM (APP) に設定すると、Bluetooth 接続の QSC Loudspeaker Control App で設定した入力 DSP 設定を使用します。アプリで追加のカスタマイズができます。

### 5. XLR/フォン・コンビネーションジャック

バランス XLR とフォンの入力です。ラインレベルまたはマイクレベルに対応します。



## 入力 C

### 1. SIG LED

緑点灯：信号を検出しています。

赤点灯：A/D コンバーターがクリップしています。赤の点滅が止むまでゲインを下げてください。点灯しない場合、入力がないか、検出できないほど小さい可能性があります。

### 2. Bluetooth ボタン

Bluetooth 接続の有効／無効を切り替えます。短く押すとペアリングモードを起動し、スマートフォンやタブレットなどの Bluetooth ストリミング機器に接続します。マルチキャストやステレオモードなどの追加機能は、QSC

Loudspeaker Control アプリの手順を参照してください。Bluetooth 接続を解除または無効化するには、このボタンを 5 秒間押し続けてください。

### 3. Bluetooth LED

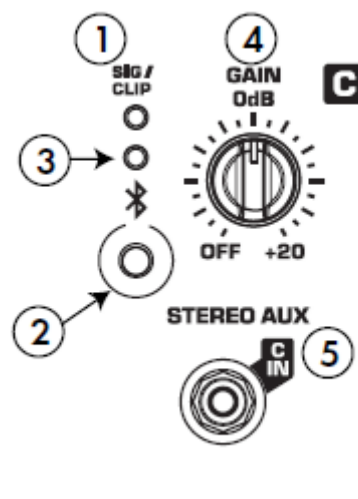
Bluetooth 接続の状態を表示します。高速点滅時は、ペアリングするホスト機器を検索中です。青で点灯しているときは、ホスト機器に接続済みです。消灯しているときは、Bluetooth が有効ではありません。

### 4. GAIN ノブ

入力 C および Bluetooth の感度を設定します。アンプへ送る信号レベルと OUT (POST DSP) 出力のレベルを制御します。

### 5. ステレオ 3.5 mm TRS フォン端子

ラインレベルのステレオ入力に対応します。入力 C に入ったステレオ信号はモノラルにサミングされます。



## フットスイッチ端子

外部のモーメンタリー/ラッチタイプのフットスイッチを接続して、FX ミュート、ダッキングのオン／オフ、スピーカーミュートなどを操作できます。フットスイッチの機能やタイプを変更する場合は、QSC

Loudspeaker Control アプリの手順を参照してください。

FOOTSWITCH



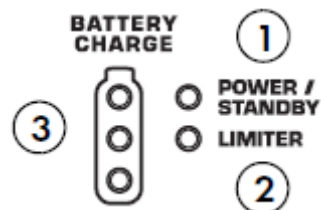


## 電源／リミッター／バッテリー充電 LED

### 1. POWER／STANDBY LED

電源が本製品に供給され、ON/OFF スイッチが上 (UP) 位置のとき青色に点灯します。

- ・無信号が 3・5 分続くとスタンバイに入り、POWER LED が点滅します (スタンバイモード)。
- ・スタンバイから復帰する場合は、スピーカーへ信号を送る／Bluetooth の QSC Loudspeaker Control アプリに接続する／電源を入れ直す、のいずれかを実行してください。
- ・Bluetooth 接続がアクティブな間はスタンバイに入りません。
- ・スタンバイが 30 分続くと、バッテリー保護のため低消費電力モードに移行します。低消費電力モードではすべての LED が消灯し、POWER スイッチが上位置でも音声は出ません。復帰するには、電源スイッチを一度下げてから再び上げてください。低消費電力モードは既定で有効ですが、QSC Loudspeaker Control アプリ使用時にスピーカー設定で無効にできます。



### 2. LIMITER LED

内蔵リミッター作動時に赤色に点灯します。任意の周波数で信号レベルが高すぎる場合、またはアンプ温度が高すぎる場合にリミッターが作動し、LED が点灯します。これによりアンプやスピーカーを保護します。

### 3. BATTERY CHARGE LEDS

充電電池の充電状態を表示します。

- ・満充電時は 3 つすべての LED が緑に点灯します。
- ・残量がおおよそ 75%のときは 2 つが点灯します。
- ・残量がおおよそ 25%のときは 1 つだけ点灯します。
- ・残量がおおよそ 10%になると最下段 LED が赤に点灯し、電源が尽きるまで続きます。
- ・充電中は LED がゆっくり点滅します。25%未満では最下段のみが点滅、75%以上では下段と中段が点滅し、満充電で 3 つすべてが点灯します。

## 出力

### 1. OUTPUT

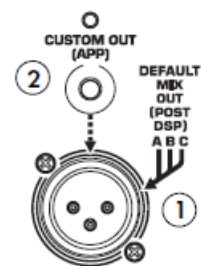
POST DSP の XLR 出力です。デフォルトは A+B+C のミックス信号を出力します。GAIN つまみの影響を受けません。

### 2. CUSTOM OUT ボタン

デフォルトの出力構成に加え、QSC Loudspeaker

Control アプリで出力先を A のみ/B のみ/

A+B+C+Bluetooth などにカスタマイズできます。



### 3.

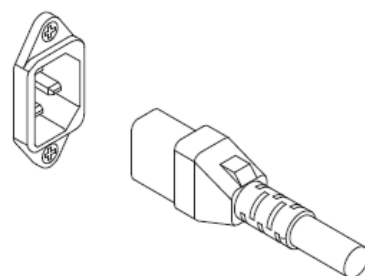
#### AC 電源

アンプ背面の IEC インレットを見つけ、AC 電源コードの IEC コネクター側を奥まで差し込んで電源アンプモジュールに接続します。

注意：AC 電源を接続する前に、AC 電源スイッチをオフにしてください。

AC を CB10 ラウドスピーカーに接続すると、電源スイッチのオン/オフに関係なく、満充電までバッテリーを充電します。

本製品はユニバーサル電源で動作します。入力 AC 電圧は 100–240 VAC、50–60 Hz に対応します。

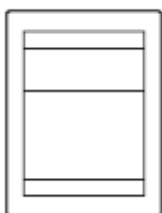


注意：設置地域に適合した電源ケーブルのみを使用してください。

#### 電源スイッチ

ロッカースwitchの上側を押して、本製品へ AC 電源を供給してください。ロッカースwitchの下側を押して、電源をオフにしてください。

**POWER**



認定バッテリー

CB10 ラウドスピーカーでは、次のバッテリーのみを使用してください：

- ・CB10-BATTERY

ファームウェアの更新

最適な性能を維持するため、QSC Loudspeaker Control アプリでファームウェアを最新にしてください。最新ファームウェアには、アプリ内の案内に従ってアクセスしてください。

## 接続図

